

上牧町立中学校 閉校記念誌

上牧中学校



上牧第二中学校



令和8年3月 閉校

目 次

上牧中学校・上牧第二中学校の位置・校章・校旗 1～2

閉校に寄せて 3～6

上牧中学校 7～16

上牧第二中学校 17～26



上牧中学校
昭和22年4月～令和8年3月



上牧第二中学校
昭和61年4月～令和8年3月

上牧中学校・上牧第二中学校の位置・校章・校旗

上牧第二中学校

奈良県北葛城郡上牧町
大字下牧35番地
東経／135度42分38秒
北緯／34度34分3秒



上牧中学校

奈良県北葛城郡上牧町
大字上牧3349番地
東経／135度43分4秒
北緯／34度30分

上牧第二中学校



上牧中学校

昭和60年代の上牧町

上牧中学校

上牧第二中学校

校章



校旗



2024.11 撮影



2025.10 撮影



上牧町長 阪 本 正 人



上牧町立中学校が長い歴史に幕を閉じるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、本町の二つの中学校の歩みを支えていただいたすべての皆さまに、心からの敬意と感謝の意を表する次第であります。地域と家庭、そして学校が互いに力を合わせ、子どもたちの成長を支えてきた長年の積み重ねは、上牧町の大切な財産であります。

令和8年4月より新たな上牧中学校が開校するにあたり、「学ぶ・つながる・創造する」を基本とした統合コンセプトを設定し、「人間尊重の心を育む」「主体性を育む」などといった「4つの育み」を掲げています。

急速に変化する社会の中で、子どもたちには知識だけでなく、思考力や判断力、他者と協働する力、そして自ら学び続ける力といった資質・能力の育成が重要になります。本町では、二つの中学校が一つに統合し、互いの良さを持ち寄り団結することで、子どもたちの学びがより豊かに育まれていくことと考えております。

閉校は寂しさを伴うものではありますが、それ以上に新たな教育の可能性を拓く転換点でもあり、未来へ向かう大きな一歩です。生きる力の基礎を培う就学前の教育の推進、「誰一人取り残さない教育」の推進が必要であり、子どもたちが郷土を知り、地域を愛し、未来を創造していく存在へ成長していくことが、本町の希望でもあります。「学校・家庭・地域」の協働をさらに進め、子どもたちが誇りをもって学べる環境づくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、長年にわたり教育にご尽力いただいた両校の校長先生をはじめとする教職員の皆さま、そして地域や保護者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、長い歴史を刻んだ各校への感謝を胸に、新しい学び舎がさらに豊かな歴史を紡いでいくことを願い、挨拶いたします。



上牧町教育委員会

教育長 永 井 工 仁



我が上牧町においても、近年の少子化の波には抗えず、2026年4月に新・上牧中学が発足することとなり、二つの中学校がその長い歴史に幕を閉じることになりました。

二つの町立中学を、これまで支えていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。

昭和100年（戦後80年）を過ぎた今、時代は昭和・平成・令和と移り変わり、日本社会は戦後復興から高度成長へと目覚ましい発展を遂げながらも、大いなる技術革新とともにめまぐるしく変化しました。とりわけ学校教育は、大きく変化していく社会からのニーズに応える形で様々な取組が行われてきました。

上牧中学は1947（昭和22）年に上牧村立上牧中学校として創立されました。上牧の教育に大きな功績を残された松浦勇太郎先生の著作『この道を歩みつづけて』によりますと、「戦後の六三制にしたがって、上牧でも新しい中学の建築が進められた。私は中学の建築現場に監督の形で毎日足を運んだ。建物の基礎をつくるとき、コンクリートの下に石（栗石）を入れる。これを小学校の子どもたちは大和川の河原まで拾いに行く。石を風呂敷に包んで運ぶ。自分たちの中学のために、子どもたちはほったたを赤くして運んでいた。」とあります。我々の先輩方（当時の子どもたち）は、自分たちの手で自分たちの学校を造っていかれたのかと感慨深い思いがしました。

そこから中学の歴史は始まり、人口増加に伴い1986（昭和61）年の第二中学開校を経て今日を迎えています。二つの中学を巣立っていった卒業生は、それぞれ10,100人超、4,500人超を数えます。卒業された皆さんは、いま、それぞれの置かれた場所で花を咲かせておられることと思います。それは、「人間尊重の精神を養い、心身ともにたくましく豊かな人間性で、正々堂々と生きる子どもの育成」を目指した、この上牧町の二つの中学で仲間とともに切磋琢磨しながら、貴重な時間を過ごしてこられた賜物であります。あらためまして、生徒たちを導いていただいた先生方、見守り支えていただいた地域の皆様、満ち溢れた愛情で育てていただいた保護者の皆様に心からの敬意と感謝を申し上げます。

いま、二つの学校が一つに結ばれ、新生・上牧中学として新たな歴史をスタートさせます。それぞれの学校が持つ良さを融合して“強み”とし、町民の誰もが誇りに思える、笑顔あふれる素晴らしい中学校への第一歩が刻まれることを皆さんと共に喜びたいと思います。

結びになりますが、教育委員会は上牧町の未来をつくる子どもたちの夢を育み、それを実現できる力を纏える教育を進めて参ります。今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、閉校に際してのご挨拶といたします。



前上牧町長 今 中 富 夫



時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、上牧町の中学校の歩みを一冊にまとめる記念誌が発行されるにあたり、長年町政に携わった者として、その歴史に触れる機会をいただきましたこと、誠に光栄に存じます。

上牧町では、いわゆるバブル期の著しい人口増加に伴い、子どもたちが安心して学べる環境を整備する必要が高まりました。その結果、上牧中学校と上牧第二中学校の二校体制が整えられ、地域の未来を担う多くの「かんまきっ子」を育む場として両校は重要な役割を果たし、多くの子どもたちが社会へと旅立っていきました。

中学校生活は、心身ともに大きく変化する多感な思春期を過ごす大切な時期です。喜びや不安、挑戦や葛藤と向き合いながら仲間との関わりを深め、自分自身を見つめる、その一日一日を丁寧に支え、子どもたちが自ら可能性を見出していけるよう、ご指導いただきました両校の校長先生をはじめ教職員の皆さま、生徒を温かく見守っていただいた地域の皆さま、そして教育活動に深いご理解をいただきました保護者の皆さまに、改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

人と人とのつながりを大切にし、心通わせるコミュニケーションの大切さを学べる環境は、時代が変わっても教育の礎であります。仲間と語り合い、支え合い、時にはぶつかりながら成長していく経験こそが、「かんまきっ子」を育むうえで、両校が長年見守り続けてまいりました上牧町の教育の原点であります。

このたび両校の歩みが一つに結ばれ、新たに上牧中学校として再出発することは、長い歴史の節目であり、同時に新たな未来への力強い第一歩でもあります。これまで学校を支えていただいた皆さまに心より感謝を申し上げるとともに、これからも地域が一体となって「かんまきっ子」を育む教育と上牧町のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。



上牧町教育委員会

前教育長 松 浦 教 雄



ここに創立79年の上牧町立上牧中学校、40年の上牧町立上牧第二中学校の両校が、それぞれの歴史に幕を下ろすに際しまして、一言お礼を申し上げます。

歴史を振り返りますと、上牧中学校は1947（昭和22）年、上牧村立上牧中学校として開校、その後、1968（昭和43）年3月、当時としてはお洒落で象徴的な時計台のある現存のA棟が落成されました。

10,133人（令和6年度現在）の多くの卒業生を輩出し、長い伝統と歴史を誇る学校で、当時三年生だった私は、この真新しいA棟の校舎で胸が高鳴る思いで、日々学んだことを卒業生の一人として今も鮮明に覚えております。

『命と人権をキーワードに』を学校教育目標に掲げ、上牧町が連綿と築き上げてきた相手の立場に立って考え、行動できる人間形成づくりを人権教育の基軸とし、「詰め込み」でない「ゆとり」や知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む人づくりの実現に向けて、全ての職員の方々が取り組まれ、全精力を傾けてこられました。

さらに、2014（平成26）年度には、文科省・奈良県教育委員会・上牧町教育委員会の指定を受け、大きな成果を上げられました。

一方、上牧第二中学校は1986（昭和61）年、西大和ニュータウンの開発に伴い、同年4月6日に創立されました。

開校当時は、まさしく国の高度経済成長期の真っ直中であり、本町の児童生徒数も急激に増加した時代でもありました。

特に、学校の施設設備の充実につきましては、PTAをはじめ地域住民の皆様方に温かく支えていただき、1996（平成8）年度より、文部省・奈良県教育委員会・上牧町教育委員会指定の「豊かな心を育む教育」の実践協力研究校として、人権教育、道徳教育に成果をあげました。

つづいて、2008（平成20）年度からは、学校・地域パートナーシップ事業の一環として、『上牧二中ささゆり会』を設立、地域ボランティアの積極的な参画を得、「地域の学校づくり」を目指すこととなりました。

私も上牧第二中学校の教頭職として2年間、校長職として3年間、つづいて、上牧中学校の校長職として4年間勤務し、多くの学びをいただいたことに大変感謝しています。

また、両校の歴代の校長先生をはじめ、多くの先生方、職員の皆様はさぞかし大変なご苦勞もあったと推察致しております。

これからの社会は、より厳しい時代になると思われ、子どもを取り巻く状況や地域の教育力が注目されています。

統合中学校は教育課題である「人権意識・規範意識・社会性の向上」、また「学力の向上や体力・運動能力の向上」等、「地域とともにある学校づくり」を目指し、益々地域から愛される学校になってほしいと祈念しております。

結びに、上牧中学校、上牧第二中学校の良き伝統が統合中学校に引き継がれ、皆様のさらなるご支援ご協力を賜うことを願い、閉校に寄せての言葉と致します。

～ 79 年の歴史を礎に、新たなる未来へ～

👑 校長 福 仲 慎 司

上牧中学校が、創立から79年という長きにわたる歴史の幕を一旦閉じる時を迎えました。最後の校長として、本校の教育活動を支え、この学び舎に熱い思いを寄せてくださった全ての皆様に、深甚なる感謝を申し上げます。

本校は、戦後間もない昭和22年4月1日、新制中学校として産声を上げました。開校以来、地域社会と歩調を合わせ、「命と人権」を教育の根幹に据えてまいりました。歴代の卒業生、保護者、そして教職員が一体となり、自他の尊厳を重んじる豊かな心を育み、激動の時代を切り拓く逞しい精神を培ってきたことは、私たちの何物にも代えがたい誇りであります。

時代の変遷と共に地域の発展は目ざましく、生徒数の急増に伴い、校舎の建て替えや増築が幾度となく行われました。高度経済成長期の熱気の中、生徒数が1,000名を超えた昭和61年度には、上牧第二中学校が分離・新設されることとなりました。以来、両校は切磋琢磨しながら、共に地域に根ざし、深く愛される学び舎としてそれぞれの歴史を刻んてまいりました。

今、校内を巡れば、生徒たちの明るい声や活気ある活動の様子が、この学び舎に刻まれた幾多の思い出と共に胸に迫ります。現在の校舎との別れに惜別の情は尽きませんが、上牧中学校の伝統が途絶えるわけではありません。来春、本校と上牧第二中学校は統合し、新たな「上牧中学校」として一步を踏み出します。本校で育まれた「命と人権」を尊ぶ精神は、新しく築かれた学び舎においても揺るぎない礎となり、次代を担う子どもたちへと確実に継承されていくものと確信しております。

79年の歴史を支え、本校を育てくださった全ての皆様に改めて厚く御礼申し上げます。新上牧中学校の輝かしい未来、そして皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、閉校の挨拶とさせていただきます。



生徒会長 吉 崎 翠

私たちの中学校は、本年度をもって閉校し、新たな学校として変わることになりました。この校舎で過ごした日々は、私たち一人一人の心の中に、かけがえのない思い出として深く刻まれています。例えば、毎日の授業で学んだこと、友達と過ごした休み時間、部活動での努力や行事での達成感など、数えきれない思い出があります。楽しいことだけでなく、悩んだことや苦しかったこともありました。その一つ一つの経験が私たちを成長させてくれました。この学校があったからこそ、今の私たちがあるのだと思います。

ここで築かれた歴史や思い出、そして人と人とのつながりが消えることはありません。この学校で学んだことを胸に、私たちは新しい学校で希望を持ち、前向きに歩んでいきたいと思っています。

これまで長い年月にわたり、本校を支えてくださった先生方、地域の皆様、そして保護者の皆様に、生徒を代表して心より感謝申し上げます。皆様の温かいご指導と支えがあったからこそ、私たちは安心して学び、仲間と共に成長することができました。感謝の気持ちを忘れず、未来へとつないでいくことを誓います。これまで本当にありがとうございました。



PTA会長 佐々木麻衣子

閉校を迎えるにあたり、これまで上牧中学校を支えてくださった地域の皆さま、保護者の皆さま、そして子どもたちを日々見守ってくださった教職員の皆さまに、PTA会長として心よりお礼申し上げます。上牧中学校がこれまで歩んできた歴史は、多くの皆さまの温かな支えにより育まれてきたものであり、その歩みに深い敬意を寄せております。

この一年、PTA活動を通じて、先生方が子どもたち一人ひとりに寄り添い、安心して学校生活を送れるよう、日々あたたかな気配りをしてくださっていることを実感いたしました。先生方のまなざしや日々のご配慮が、生徒たちの成長をやさしく支えてくださっていることに、心より感謝申し上げます。

地域の皆さまには、登下校の見守りをはじめ、学校行事へのご理解とご協力など、日常のさまざまな場面で温かい支えをいただいてまいりました。こうした地域の皆さまの存在が、子どもたちにとって大きな安心につながっていたことと思います。

また、これまでPTA活動を支えてくださった歴代のPTA会員の皆さまにも、深くお礼申し上げます。皆さまのお力添えが、上牧中学校の温かな学校文化を育てこられたものと感じております。

私自身も上牧中学校の卒業生であり、この学び舎で過ごした日々は今も鮮明に残っております。放課後にテニス部で仲間と汗を流した時間や、毎日楽しみにしていた給食の味は、当時のぬくもりを今も思い出させてくれます。

閉校を迎えることに寂しさはありますが、こうした思い出の一つひとつが、この学校が子どもたちに届けてきた豊かな時間の大きさを改めて感じさせてくれます。

4月からは、新たな上牧中学校が歩みを進めます。これまでの上牧中学校の歴史や思いが新しい校舎へと受け継がれ、子どもたちがより充実した環境の中で学びや出会いを重ね、自信をもって未来へ歩いていくことを心より願っております。

昭和22年4月	学制改革により上牧村立上牧中学校開校
昭和23年5月	新校舎落成、5月25日を創立記念日とする。 文部省モデルスクールに指定される。
昭和23年12月	校旗・校歌制定
昭和26・27年	県実験学校に指定（学習環境の整備運営）
昭和28年3月	講堂落成
昭和32年10月	創立10周年記念式典並びに記念事業 図書購入・卓球場新設・工作機の購入・放送器具の購入・門柱建立
昭和33年4月	藤棚の整理
昭和34年4月	学級増による改造工事落成
昭和34年10月	郡保健体育科研究発表
昭和35年9月	2教室増築工事落成
昭和36年10月	全学級教室改装
昭和37年5月	理科教室整備
昭和37年9月	体育館新築落成
昭和38年4月	音楽室改装、机・ブラスバンド楽器購入
昭和38年7月	運動場整備・暗渠・側溝・排水施設
昭和38年11月	文部省・県・郡指定同和教育研究発表
昭和39年12月	砂場設置
昭和43年3月	新校舎落成（現A棟）
昭和45年6月	テニスコート・バレーボールコートを整備
昭和47年3月	浄化槽の設置
昭和47年12月	上牧町立上牧中学校に改称
昭和49年3月	増築校舎竣工（現B棟）
昭和49年6月	給食開始
昭和49年10月	テニスコート設置
昭和52年3月	新体育館落成
昭和52年7月	プール新築工事落成（現プール）
昭和55・56年	県教育委員会指定研究（体力づくり）
昭和56年1月	増築校舎竣工（現C棟）
昭和56年3月	新運動場完成
昭和61年4月	上牧第二中学校との分離
昭和61年7月	上牧第二中学校との分離に伴い大規模改修工事 A棟／地下1階 木工室・金工室・作品庫・準備室 1階 調理室・準備室・大空学級(1) 屋上 全面修理 C棟／地下1階 体育倉庫・クラブ6室 1階 新玄関・新事務室・倉庫増築
昭和62年7月	大規模改修工事 A棟／地下1階 展示室設置 1階 大空学級(2)・倉庫・展示室設置 2階 美術室(2室)・展示室・準備室・教材庫設置、普通教室(4室)改修 B棟／1階 理科室(3室)・準備室(3室)・用務員室・廊下の改修 2階 普通教室(9室)・廊下の改修 C棟／地下1階 便所改修 1階 放送室設置 2階 音楽室(2室)・準備室改修 その他 浄化槽一部改修

昭和63年7月	大規模改修工事 A棟／2階 美術室手洗場設置 B棟／1階 便所改修 2階 便所改修 3階 便所改修・多目的ホール設置、図書室改修 C棟／1階 便所改修 2階 便所改修 その他 自転車置場設置、藤棚の改修、給食室・休憩室の改修
平成元年7月	大規模改修工事 A棟・B棟外壁改修、校長室・職員室に冷暖房設置
平成2年9月	テニスコート全面改修
平成3年8月	第一期下水道工事
平成4年7月	第二期下水道工事・コンピューター設置工事
平成4年9月	学校週五日制実施（毎月第二土曜日休業日となる）
平成4年11月	オイルタンク設置工事
平成6年5月	ファクシミリ設置
平成7年4月	学校週五日制実施（毎月第二・四土曜日休業日となる）
平成7年11月	平成6・7年度文部省・奈良県教育委員会指定 上牧町学校道徳教育振興事業実施
平成14年4月	学校完全週五日制実施
平成16年4月	読書タイム実施 学校評議員会設置
平成20年4月	学校支援地域事業
平成21年4月	学校支援地域事業
平成21年9月	弁当の日（1年のみ実施）
平成22年4月	学校支援地域事業
平成22年8月	校舎（A棟）耐震補強・体育館新築工事
平成22年9月	弁当の日（全学年実施）
平成23年3月	新体育館完成
平成25年4月	学校地域パートナーシップ事業学校運営協議会【学校コミュニティ委員会】の設立 平成25年度文部科学省委託人権教育研究指定校事業（奈良県教育委員会指定研究学校）
平成26年10月	平成26年度文部科学省委託人権教育研究指定校事業（奈良県教育委員会指定研究学校） 研究発表会
平成27年7月	耐震補強改修工事 B・C棟 耐震補強、多目的室天井改修 A・B・C棟 便所改修、放送室・コンピューター室 空調改修、煙突改修工事
平成29年9月	渡り廊下改築工事
平成30年8月	空調設備設置工事
令和2年4月	中学校ペガサス（通級指導）教室開室
令和3年3月	端末機収納保管庫・Wi-Fi設備等設置工事
令和4年5月	ペガサス（通級指導）教室、空調設備設置工事
令和4年7月	多目的ホール空調設備設置工事
令和5年7月	体育館空調設備設置工事
令和5年10月	体育館Wi-Fi設備設置工事
令和6年7月	数学教室・書道室・進路室 空調設備設置工事

1947

Start



「沿革誌」

昭和22年4月1日
上牧村立上牧中学校 開校
歴史が刻まれ始める



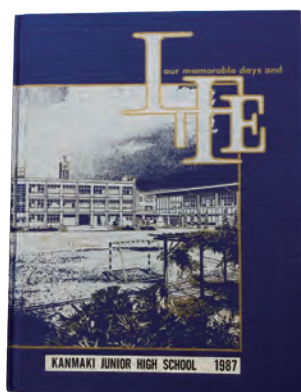
「開校した頃の上牧中学校」

村を挙げての工事により、115日で校舎が完成する
(工事期間：昭和23年2月1日～昭和23年5月25日)



「中学校竣工一周年記念」

小中合同春季体育大会
昭和24年5月28日に、小中合同で
体育大会を開催



「1987年 卒業アルバム」

上牧第二中学校と分離してから
初めての卒業アルバム



「1986年度の学び舎」

この年に上牧第二中学校と分離



「1985年頃 卒業式」

多くの生徒が巣立っていった



「1990年頃 文化祭」

▶皆でつくる人文字
▼華やかに想いを空へ



「2005年頃 入学式」 新しい学校生活の始まり



「起工式」 現A棟の建設にあたり、起工式を挙る



「1970年頃の現A棟」時計台がシンボルの校舎



「昭和49年5月23日発行 広報 かんまき」
現B棟の完成を知らせる



「竣工祝賀式 パンフレット」
昭和47年3月31日
現A棟を含む、村施設の竣工を祝う



「人権教育指定校を示す看板」
平成25年度・平成26年度 人権教育研究指定校となる



「上空から」(左)2010年頃 (右)2013年頃
昭和52年3月に完成後、長年にわたって利用してきた体育館に別れを告げ、
平成23年3月新体育館が完成



「2015年頃 校舎と体育館をつなぐ渡り廊下」
多くの生徒が行き交った



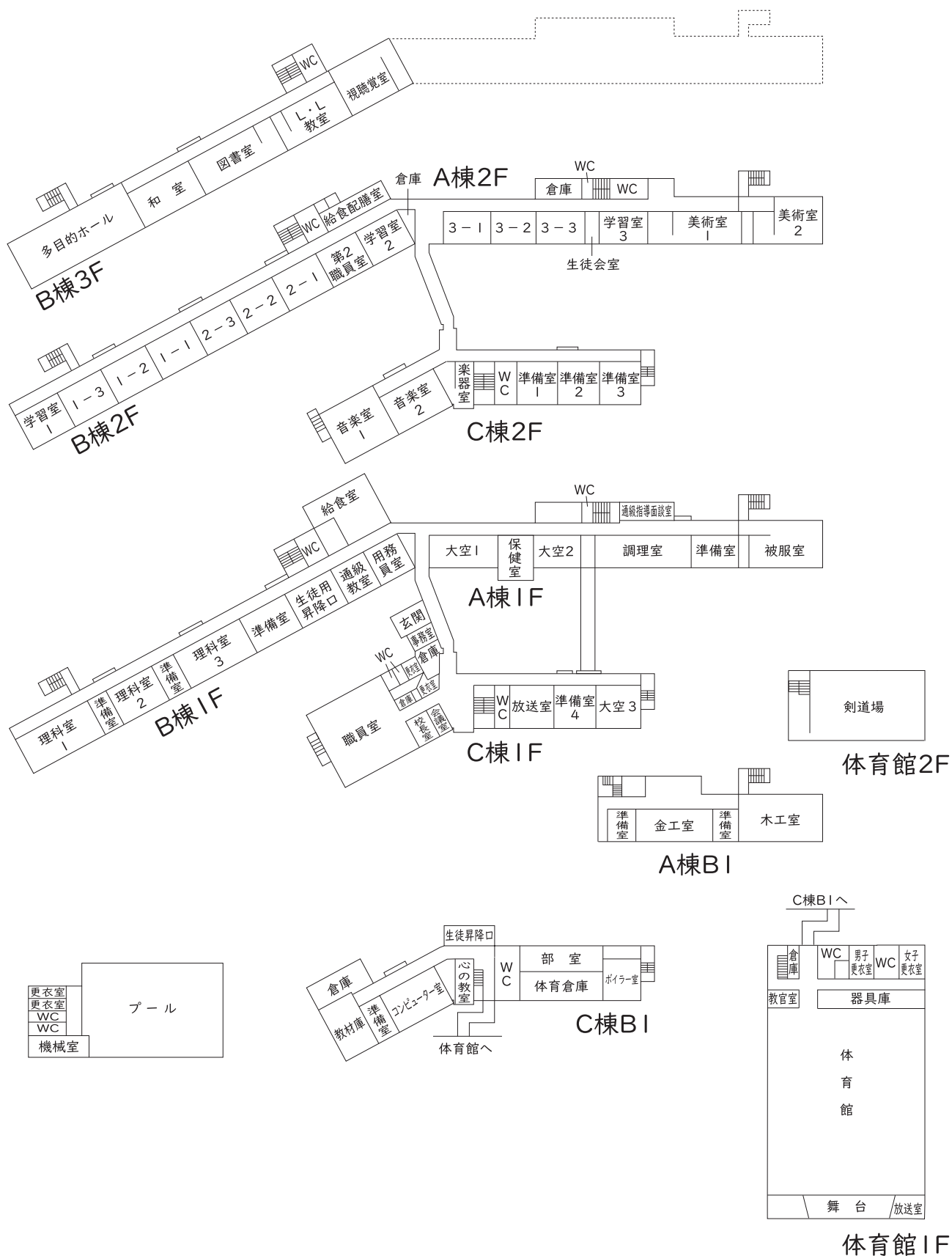
「2016年 Be Happy
～差別をなくす集会～」
差別について考える



「2024年度 卒業制作」 職員室前の窓からA棟を望む



上牧中学校 校舎図



上牧中学校 歴代校長名簿

初代	飯 野 敏 夫	昭和22年4月1日 ~ 昭和23年10月29日
2代	松 浦 勇太郎	昭和23年10月30日 ~ 昭和27年3月31日
3代	竹 島 郁	昭和27年4月1日 ~ 昭和32年3月31日
4代	堀 内 賢 治	昭和32年4月1日 ~ 昭和36年8月31日
5代	森 壮治郎	昭和36年9月1日 ~ 昭和41年3月31日
6代	黒 松 太 一	昭和41年4月1日 ~ 昭和50年3月31日
7代	吉 田 薫	昭和50年4月1日 ~ 昭和52年3月31日
8代	尾 崎 富 男	昭和52年4月1日 ~ 昭和55年3月31日
9代	堀之内 寛	昭和55年4月1日 ~ 昭和56年3月31日
10代	北 尾 光 雄	昭和56年4月1日 ~ 昭和58年3月31日
11代	瀬 川 貞 之	昭和58年4月1日 ~ 昭和61年3月31日
12代	森 井 茂 美	昭和61年4月1日 ~ 昭和63年3月31日
13代	高 塚 孝 通	昭和63年4月1日 ~ 平成2年3月31日
14代	奥 坂 英 男	平成2年4月1日 ~ 平成7年3月31日
15代	増 井 啓 二	平成7年4月1日 ~ 平成11年3月31日
16代	飯 田 純 三	平成11年4月1日 ~ 平成15年3月31日
17代	早 川 喜 章	平成15年4月1日 ~ 平成16年11月30日
18代	安 川 敬 司	平成17年1月1日 ~ 平成21年2月28日
19代	吉 田 浩 敏	平成21年4月1日 ~ 平成23年3月31日
20代	松 浦 教 雄	平成23年4月1日 ~ 平成27年3月31日
21代	千 葉 茂 樹	平成27年4月1日 ~ 平成30年3月31日
22代	岸 本 秀 章	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日
23代	福 仲 慎 司	令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日



上牧中学校 歴代PTA会長名簿

昭和22年度	松 本 甚 一
昭和23年度	服 部 憲 春
昭和24年度	服 部 安 司
昭和25年度	服 部 安 司
昭和26年度	浅 井 正 矩
昭和27年度	服 部 安 司
昭和28年度	服 部 安 司
昭和29年度	服 部 安 司
昭和30年度	蒲 池 甚九郎
昭和31年度	蒲 池 甚九郎
昭和32年度	蒲 池 甚九郎
昭和33年度	蒲 池 甚九郎
昭和34年度	辰 巳 実 蔵
昭和35年度	中 山 久 吉
昭和36年度	中 山 久 吉
昭和37年度	中 山 久 吉
昭和38年度	高 木 藤治郎
昭和39年度	武 安 正 男
昭和40年度	吉 中 庄 治
昭和41年度	青 木 正 雄
昭和42年度	青 木 正 雄
昭和43年度	青 木 正 雄
昭和44年度	井 上 憲 一
昭和45年度	井 上 憲 一
昭和46年度	五 藤 春 雄
昭和47年度	五 藤 春 雄
昭和48年度	五 藤 春 雄
昭和49年度	上 村 義 一
昭和50年度	上 村 義 一
昭和51年度	上 村 義 一
昭和52年度	中 川 昭 雄
昭和53年度	中 川 昭 雄
昭和54年度	柳 原 京 一
昭和55年度	柳 原 京 一
昭和56年度	柳 原 京 一
昭和57年度	高 埜 恭 子
昭和58年度	高 埜 恭 子
昭和59年度	高 埜 恭 子
昭和60年度	高 木 智榮子
昭和61年度	千 竈 啓 子

昭和62年度	黒 木 徂 子
昭和63年度	猪 飼 照 美
平成元年度	田 島 庸 行
平成2年度	田 島 庸 行
平成3年度	中 山 和 子
平成4年度	中 山 和 子
平成5年度	黒 木 徂 子
平成6年度	矢 野 民 子
平成7年度	白 銀 敏 子
平成8年度	門 口 良 子
平成9年度	服 部 公 英
平成10年度	服 部 公 英
平成11年度	服 部 公 英
平成12年度	服 部 公 英
平成13年度	八和田 瑞 江
平成14年度	八和田 瑞 江
平成15年度	八和田 瑞 江
平成16年度	西 原 敬 子
平成17年度	西 原 敬 子
平成18年度	暁 公 美
平成19年度	暁 公 美
平成20年度	丸 山 貴美子
平成21年度	丸 山 貴美子
平成22年度	土堤内 基 子
平成23年度	土堤内 基 子
平成24年度	岡 本 恵
平成25年度	岡 本 恵
平成26年度	米 原 幸 子
平成27年度	廣 見 聡 子
平成28年度	若 狹 かおり
平成29年度	妻 鹿 多美恵
平成30年度	壬 生 都
令和元年度	坂 本 博 子
令和2年度	鳥 越 美加子
令和3年度	外 川 知園子
令和4年度	佐々木 笑
令和5年度	百 谷 ひろみ
令和6年度	関 真 弓
令和7年度	佐々木 麻衣子

上牧中学校 校歌

酒井 雨虹 詞
岩上 行忍 曲



一、日は輝けり、みどりの風よきたれ

ここれいめいの 丘にたちて われら今
かそけき風に 吹かれつつ

高き青空のもと、真若き窓を開かな
ああはるかなる 希望ぞもゆる 上牧中学

二、葛下の流れ 底ゆく石よ光れ

見よ参台の かげをうけて われら今

さやけき里に ひたりつつ

広き学林の中、真深きわけをきわむれ

ああけなげなる 知徳ぞみがく 上牧中学

三、それおお大和、文化の花よかおれ

かの葛城の 峰をこえて われら今

ゆたけき園に 育ちつつ

清きリバティの鐘、真高き国を興さん

ああわが友よ、ほまれぞとうと 上牧中学

光あれ 誇りあれ 栄えあれ

 校長 西 尾 友 子

窓外に広がる景色は、40年前の開校当時からどのように変わったのでしょうか。

1986（昭和61）年4月、二上の山脈を遠くに望む傍丘・葛城の清々しい緑の地に、「地域から信頼され愛される学校」をめざして上牧町立上牧第二中学校が開校されました。それから星霜移り変わり、ここに開校40周年という大きな節目を迎えるとともに、上牧中学校との統合による閉校という、歴史の転換点に立ち会うこととなりました。

振り返れば、本校の歩みは常に地域社会と共にありました。開校以来、一万日を超える日々の中で積み重ねられた物語は、枚挙に暇がありません。朝のあいさつ運動で交わした言葉、部活動で流した情熱の汗と涙、文化祭や体育大会で響き渡った歌声や歓声、そして、時には静かに、時には熱く語り合った教室での学びの記録。これらの情景は、今も校舎の隅々にまで息づいています。これまで巣立った4,680名の卒業生は、本校で培った「やる気 元気 パワー」の精神を糧に、町内外の多方面で社会を支える有為な人材として活躍されています。

この40年間、本校が揺るぎない教育活動を継続することができたのは、上牧町教育委員会をはじめ、創立期の混迷を乗り越え、伝統を築こうと奔走しバトンを繋いできた教職員、歴代PTAの皆様、そして何より学校を我がことのように慈しみ、温かく支えてくださった地域住民の皆様の深いご理解とご支援があったからに他なりません。特に、学校と地域が一体となった様々な活動は、生徒たちの豊かな心を育む大きな力となりました。多大なるご尽力を賜りました全ての皆様に、深甚なる感謝を申し上げます。

2026（令和8）年4月、本校は上牧中学校と統合し、新たな一步を踏み出します。校名や校舎という形は変わりますが、二中生が築き上げた伝統と誇りは、新校へと確実に引き継がれていくものです。生徒たちには、この学び舎での思い出を心の灯火とし、新しい友と共に、より輝かしい未来を切り拓いていくことを切に願っています。本校の歴史は、町の歴史の一部として、そして関わった全ての人々の記憶の中に、色褪せることなく刻まれ続けるでしょう。

結びに、上牧第二中学校を愛した全ての皆様のご健勝とご多幸、そして本町の教育が今後ますます発展することを祈念いたしまして、閉校にあたっての言葉といたします。

生徒会長 山内 一 志

自然に恵まれたとても美しい環境、平和で笑顔が絶えない生活。その中で学んだり、遊んだり、生徒や先生と絆を深め合ったり、協力したり、楽しんだり、挙げだしたらきりがなほどの思い出がある誇らしく、素晴らしい上牧第二中学校。それが40年間という長い年月を経て閉校されてしまひます。

まずは、先生方やボランティアの方々にとても感謝しています。多くのことを教え、助け、協力してくださり、在校生を支えてくれました。今の3年生はこの上牧第二中学校の最後の卒業生になります。3年生の存在感はすごく、いつも、1・2年生の見本のような姿でした。3年生のおかげで、この学校がとても明るかったです。そして、わたしたち1・2年生は新しくできる上牧中学校でも、新しい友だちを作り、絆を深め合い、楽しい思い出をたくさん作っていきます。

部活動は40年前と比べ、数はかなり減ってしまひましたが、それでも毎日楽しく笑顔で活動できました。行事はたくさんあり、どれも面白く迫力がありました。校外学習など校外に出る機会もありました。

思い出でいっぱいの上牧第二中学校が閉校されますが、必ずこの思い出は残されていくと思っています。

わたしは、この学校がとても大好きです。とても楽しい思い出しかありません。周りにはいつも、大切に信頼でき、優しい仲間や先生がそばにいてくれました。この学校で過ごせて、うれしく、感謝でいっぱひです。ありがとう上牧第二中学校。そしてお疲れさまでした。



PTA会長 竹田 幸子

この春、上牧第二中学校は40年の歴史に幕を下ろすことになりました。

閉校と統合という節目にPTA会長として、また一人の保護者として、この記念誌に言葉を寄せる機会をいただきありがたく感じております。

上牧第二中学校もかつては約600人もの生徒が在籍していたと聞き、教室や廊下には子どもたちの声が響き渡り、朝の挨拶、運動会の声援、数々の行事や部活動は賑わひ活気に満ち溢れ、数えきれないほどの笑顔や涙、挑戦や成長が繰り広げられてきたことでしょう。今では子どもの人数が減少し閉校という運びになり、歩みを振り返ると多くの思い出とともに、言葉に尽くしがたい寂しさが胸に広がります。

閉校と統合が決まってから、子どもたちができるだけ安心し新しい学校生活が迎えられるよう様々な準備や話し合いを重ね進めてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。決して簡単な道のりではなくPTAとしても多くの方のご理解とご協力により一歩ずつ前に進むことが出来たと感じています。

上牧中学校との交流会・合同活動を通して、新しい仲間と顔を合わせともに遊び、楽しむなかで不安だった気持ちも期待へと変わり、新たな門出を迎えることが出来ることと思います。このような機会を与えてくださったことにPTAを代表いたしましてお礼を申し上げます。

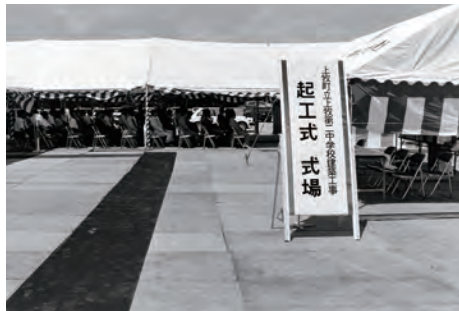
これまで学校を支えてくださった地域の皆さま、温かくご指導して下さった先生方、そして日々子どもたちを見守り続けてこられた保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。多くの方々の支えがあったからこそ、今日までのあゆみがありました。これからも子どもたちが安心して新しい環境へ踏み出せるよう、学校・地域の方々と手を取り合いながら支えてまいります。統合後の学校が子どもたちの笑顔と希望に満ちた学校になることを願い、結びの言葉いたします。

昭和60年8月4日	起工式 (位置／東経135度42分38秒、北緯34度34分3秒、海拔79.89m)
昭和61年4月6日	開校式
昭和61年5月31日	プール竣工式、全施設設備工事完了する。
昭和61年6月1日	創立記念日
平成2年～3年	文部省・県教委・町教委から生徒指導研究総合推進校の指定を受け研究推進に努める。
平成3年3月12日	校歌碑除幕式
平成5年9月1日	学校週五日制実施に伴い、第二土曜日を休業日とする。
平成7年2月14日	ミャンマー教育代表団来校。20名の青年教師を迎える。
平成7年4月1日	学校週五日制月2回実施に伴い、第二及び第四土曜日を休業日とする。
平成7年11月3日	創立10周年記念として、校内音楽コンクールをペガサスホールで開催する。
平成7年11月28日	文部省・県教委・町教委指定の上牧町学校道徳教育振興事業研究発表会に参画する。
平成8年～9年	文部省・県教委・町教委より「豊かな心を育む教育実践協力校」の指定を受け、研究推進に努める。
平成9年～10年	スクールカウンセラー活用調査研究の委託を受ける。
平成9年5月29日	韓国全羅南道（チョルラナムド）より教育視察団来校。43名の教師、PTA役員等を迎える。
平成10年10月29日	ボランティア功労に対する厚生大臣表彰を受ける。
平成11年4月	「心の教室相談員」活用調査研究委託を受ける。
平成11年4月	町の事業としてスクールカウンセラー活用調査研究の会場を受ける。
平成12年4月	県教委より「いきいき・なら体験事業」の指定を受ける。
平成14年4月	学習指導要領の改訂に伴い、完全学校週五日制を実施する。
平成17年6月・11月	創立20周年記念式典、記念文化鑑賞会を開催する。
平成18年12月12日～13日	奈良県教育委員会による学校アドバイザーチームの訪問を受ける。
平成19年12月19日	奈良県教育委員会による学校アドバイザーチームのフォローアップ訪問を受ける。
平成22年2月1～2日	奈良県教育委員会による学校アドバイザーチームの訪問を受ける。
平成22年4月	国のスクールニューディール構想により南館屋上に太陽光パネルが設置される。
平成23年2月21日	奈良県教育委員会による学校アドバイザーチームフォローアップ訪問を受ける。
平成23年3月	県の市町村臨時交付金により普通教室10教室に2台ずつ扇風機が設置される。
平成25年8月	コンピュータ教室に、新機種45台のパーソナルコンピュータが設置される。

平成27年8月	体育館の改修により、照明がLED化される。
平成27年9月2日	創立30周年記念式典「30祭」を開催する。
平成28年8月	体育館屋根改修工事
平成29年4月	文部科学大臣より「読書活動の実践」の表彰を受ける。
平成30年6月	台湾桃園市立桃園國民中學から5名の教師と21名の生徒が来校し、交流する。
平成30年6月	普通教室の照明がLED化される。
平成30年7月	体育館床全面張替工事
平成30年8月	普通教室に空調設備（エアコン）が設置される。
令和元年7月24日 ～26日	町中学生国際交流事業として、教師2名、生徒11名が台湾を訪問し、桃園市立桃園國民中學やホストファミリーと交流する。
令和元年8月	校舎屋根改修工事
令和2年3月2日～31日	新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休業となる。
令和2年4月6日 ～5月31日	新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休業となる。
令和2年6月1日 ～6月14日	分散登校により、学校を再開する。
令和2年6月15日	一斉登校を開始する。
令和3年1月	新設トイレ（本館・北館・体育館）完成引き渡し
令和3年2月	校内無線LAN設置完了
令和3年6月	給食配膳室空調設備の追加設置
令和3年7月	第二音楽室空調設備旧式撤去・新規設置工事完了
令和4年10月	本館西階段と第二音楽室の照明がLED化される。
令和5年1月	自衛隊による生徒を対象とした防災講話・救命救急講習会を実施する。
令和5年3月	日本セーフティプロモーションスクール協議会よりセーフティプロモーションスクールの認証を受ける。
令和5年10月	体育館に空調設備（エアコン）が設置される。
令和5年12月	台湾桃園市立桃園國民中學から3名の教師と28名の生徒が来校し、町内のホストファミリーと交流する。
令和6年7月29日 ～31日	町中学生国際交流事業として、教師2名、生徒5名が台湾を訪問し、桃園市立桃園國民中學やホストファミリーと交流する。
令和6年12月23日	町中学生国際交流事業として、教師3名、生徒5名が夏季に交流した桃園市立桃園國民中學の生徒とオンラインで交流する。
令和7年3月19日	令和8年度4月の上牧町立中学校の統合に向けて、第1学年において上牧中学校とスポーツ大会を通して生徒間交流をする。

Memories

Ready



「起工式」
昭和60年8月4日
新たな中学校の無事の完成を祈願する

1986
Start



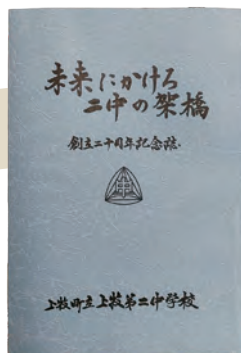
「完成した上牧第二中学校」 昭和61年竣工



「1987年 卒業アルバム」
開校当初の卒業アルバム



「体育祭での組体操」
創立20周年を記念した横断幕を掲げる



「創立二十周年記念誌」
平成17年6月1日発行
第6代校長 江頭計仁氏が
題字をしたためる



「表彰状」
平成8年度・平成9年度
「豊かなこころを育む教育実践協力校」として、
研究推進に努め、表彰される



「太陽光パネル」
平成22年4月
国のスクールニューディール構想により、設置



「感謝状」
「社会を明るくする運動」への
協力に対し、感謝状が贈られる



「セーフティプロモーションスクール認証式」
令和5年3月24日
上牧第二小学校とともに、県内で初めて認証を受ける



「校内体育大会優勝旗」
旗の日焼け跡に歴史がにじむ



「雪景色の中庭」
平成26年2月14日 一面が雪に染まる



「1990年頃 入学式」
新たな学び舎で始まる中学校生活



「1990年頃の学び舎」 グラウンドから校舎を望む



「新制服」
平成3年10月31日
「生徒指導総合推進校発表会全体会」を
体育館にて開催した際に、新制服を展示



「校歌碑 除幕式」
平成3年3月12日 校歌碑の除幕式を挙行
(左) 除幕式の様子
(右) お披露目された校歌碑



「2024年度 卒業式」
3年間過ごした学び舎から旅立つ



「2025年度 文化鑑賞会」
令和7年9月25日 上牧第二中学校最後の文化鑑賞会 皆で創り上げた記念の一作

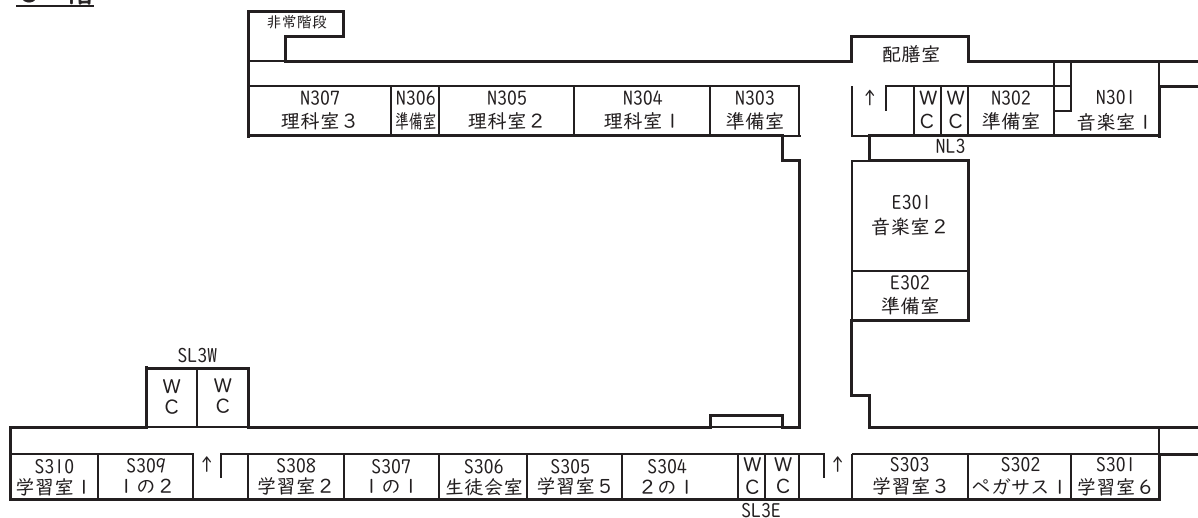


「2025年 2階廊下」
歴代の生徒たちが過ごしてきた場所

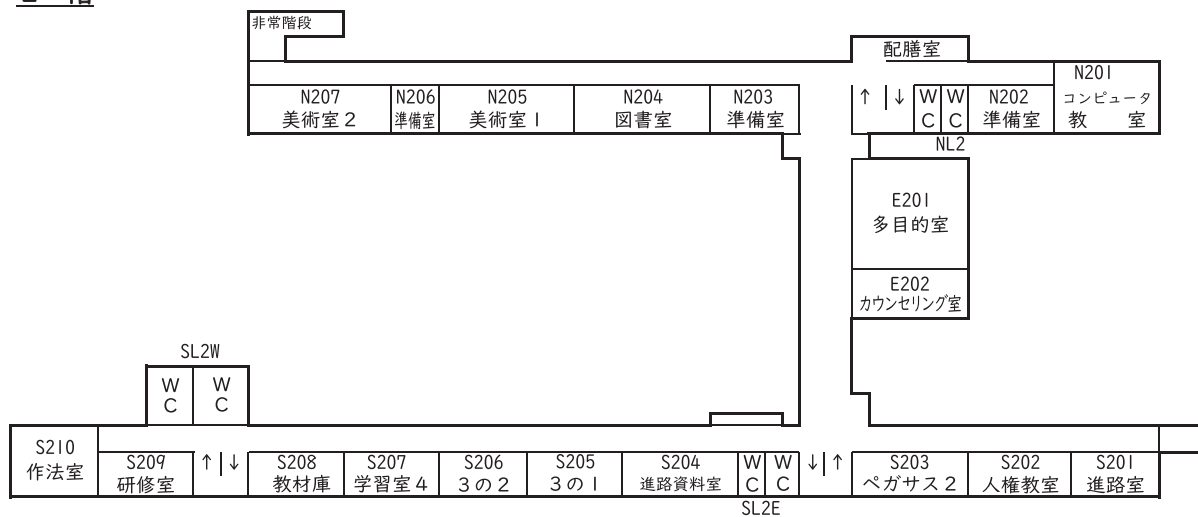


上牧第二中学校 校舎図

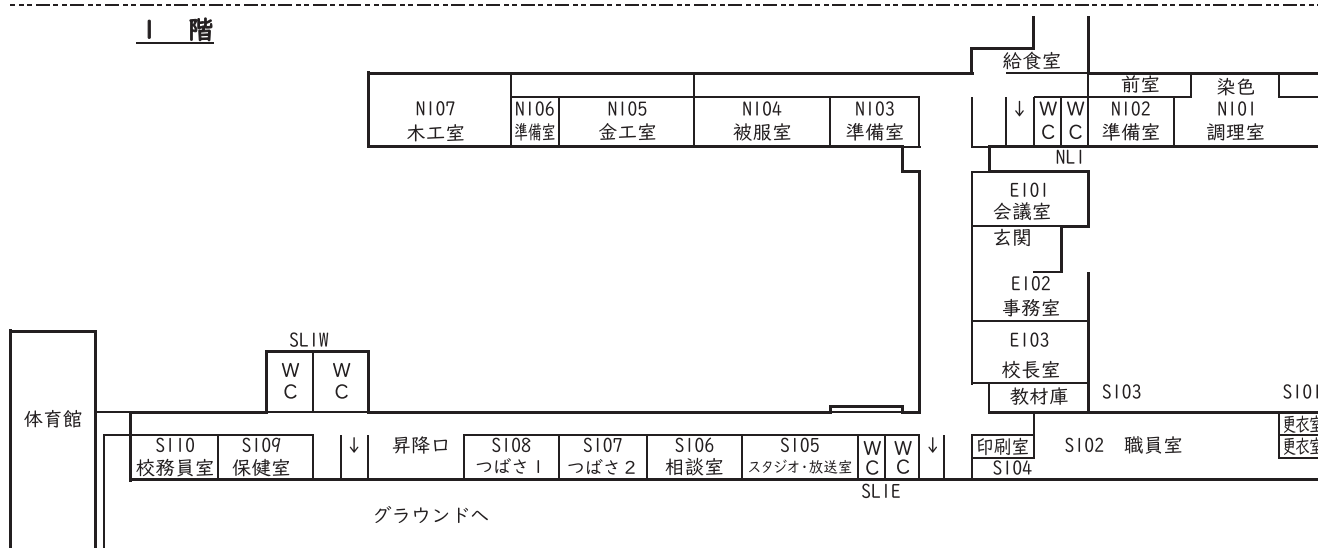
3 階



2 階



1 階



上牧第二中学校 歴代校長名簿

初代	植 田 昭 雄	昭和61年4月1日 ~ 昭和63年3月31日
2代	村 井 偉 夫	昭和63年4月1日 ~ 平成4年3月31日
3代	西 川 安 男	平成4年4月1日 ~ 平成6年3月31日
4代	池 口 誠 伸	平成6年4月1日 ~ 平成12年3月31日
5代	杉 本 祐 一	平成12年4月1日 ~ 平成13年3月31日
6代	江 頭 計 仁	平成13年4月1日 ~ 平成18年3月31日
7代	増 田 稲 喜	平成18年4月1日 ~ 平成20年3月31日
8代	松 浦 教 雄	平成20年4月1日 ~ 平成23年3月31日
9代	大 西 節 子	平成23年4月1日 ~ 平成25年3月31日
10代	吉 田 浩 敏	平成25年4月1日 ~ 平成27年3月31日
11代	今 西 富 造	平成27年4月1日 ~ 平成30年3月31日
12代	大 山 浩 史	平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日
13代	芋 木 達 司	令和3年4月1日 ~ 令和5年3月31日
14代	西 浦 寛	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
15代	西 尾 友 子	令和6年4月1日 ~ 令和8年3月31日



上牧第二中学校 歴代PTA会長名簿

昭和61年度	不 二 登喜子
昭和62年度	樋 口 豊 治
昭和63年度	藤 本 佳 子
平成元年度	藤 本 佳 子
平成2年度	小 林 いく代
平成3年度	小山田 かよ子
平成4年度	武 田 千加代
平成5年度	武 田 千加代
平成6年度	中 山 明 代
平成7年度	宮 本 勝 美
平成8年度	柳 原 加世子
平成9年度	東 谷 良 子
平成10年度	東 谷 良 子
平成11年度	宮 下 佳 世
平成12年度	宮 下 佳 世
平成13年度	西 村 ひとみ
平成14年度	西 村 ひとみ
平成15年度	増 田 里都子
平成16年度	増 田 里都子
平成17年度	増 田 里都子

平成18年度	土 井 美恵子
平成19年度	土 井 美恵子
平成20年度	土 井 美恵子
平成21年度	青 戸 博 美
平成22年度	青 戸 博 美
平成23年度	青 戸 博 美
平成24年度	岸 森 尚 美
平成25年度	岸 森 尚 美
平成26年度	岸 森 尚 美
平成27年度	長谷川 愛
平成28年度	高 橋 道 代
平成29年度	藤 川 マ リ
平成30年度	斉 藤 恵 子
令和元年度	松 井 宏 美
令和2年度	高 坂 茜
令和3年度	桂 田 朋 子
令和4年度	湯 原 淑 枝
令和5年度	貞 永 千 香
令和6年度	林 直 子
令和7年度	竹 田 幸 子



上牧第二中学校 校 歌

上牧第二中学校 校歌

作詞 昭和61年度 職員生徒一同

作曲 昭和61年度 職員一同



1. み ど り さ や け ー ー き か つ ー ら ぎ ー の
2. い に し え の さ と ー の か た ー お か ー の
3. は る ー か に あ お ー ぐ ふ た ー か み ー の



し ろ き ま さ な な び な ー や ひ に ー は え ー て
い き ま な か ん た な ー わ く こ ー わ ど ー より
や ま な み た な ー く も ー だ ー



た か き ー ー り そ う を か か げ ー つ ー つ
あ から た か ー な ー と こ こ ー を そ か ぎ み ー つ ー つ
ゆ た か ー な ー



わ れ ら こ の ー ち に い ま ま ま つ な ー ぶ
わ れ ら こ の ー ち に い ま ま ま つ な ー ぶ
わ れ ら こ の ー ち に い ま ま ま つ な ー ぶ



あ ひ か り あ れ かん ま ま き だ い に ち ゆ う
あ ひ か り あ れ かん ま ま き だ い に ち ゆ う
あ ひ か り あ れ かん ま ま き だ い に ち ゆ う

一、緑さやけき 葛城の

白き学舎 陽に映えて
高き理想を かかげつつ

我ら この地に今学ぶ
ああ 光あれ 上牧第二中

二、いにしえの里の 傍丘の

意気さかんなる 若人よ
新たな時を 刻みつつ

我ら この地に今集う
ああ 誇りあれ 上牧第二中

三、はるかに仰ぐ 二上の

山脈高く 雲渡り
豊かな情操 育てつつ

我ら この地を今巣立つ
ああ 栄えあれ 上牧第二中

編纂：上牧町教育委員会
印刷：株式会社サカタ企画印刷

令和8年3月発行

